

## 【施策16】文化・交流

～人をひきつける魅力があふれるまち～

- ◆展開方向01: 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高めます。

|   |                   |     |
|---|-------------------|-----|
| 1 | シティプロモーション推進事業費   | 231 |
| 2 | 尼崎市総合文化センター補助金等   | 233 |
| 3 | 文化団体育成補助金         | 235 |
| 4 | (仮称)文化振興ビジョン策定事業費 | 237 |

- ◆展開方向02: まちの魅力を積極的に発信し、良好な都市イメージを創造します。

|   |              |     |
|---|--------------|-----|
| 1 | 声の広報発行事業費    | 239 |
| 2 | 市報あまがさき発行事業費 | 241 |
| 3 | 点字あまがさき発行事業費 | 243 |

- ◆展開方向03: 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人との交流を促進します。

|   |                     |     |
|---|---------------------|-----|
| 1 | まち情報発信事業費           | 245 |
| 2 | ひょうごツーリズム協会等負担金     | 247 |
| 3 | 友好都市鞍山市交流関係事業費      | 249 |
| 4 | 国際交流事業補助金           | 251 |
| 5 | 日独文化研究所負担金          | 253 |
| 6 | 姉妹都市アウクスブルク市交流関係事業費 | 255 |

(このページは白紙です)

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |                 |      |      |          |
|--------|-----------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | シティプロモーション推進事業費 | 1930 | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | —               |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —               |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 平成25年度          |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流        |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |                 |      | 目    | 60 企画費   |

|         |   |   |                     |
|---------|---|---|---------------------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 |   |                     |
| 局       | 企画財政局   | 課 | 都市魅力創造発信課、魅力発信・報道担当 |
| 所属長名    | 松長 昌男、井上 潤一                                       |   |                     |

① 事業概要

|        |  |
|--------|--|
| 事業実施趣旨 | 本市は、過去の公害をはじめ、治安やマナーの悪さなどを背景に「マイナスイメージ」が先行している。そこで、本市並びに他都市の市民・事業者に対し、本市の魅力の的確に伝え、イメージの向上を図り、まちの価値を高めていくシティプロモーションに取り組む。   |
| 対象     | 市民・事業者・行政・市外在住者  |
| 求める成果  | 市内外に尼崎を好きな人を増やすため、「あまらぶ※」な人や「あまらぶ」な人を増やすための物・事・情報がまちにあふれている状態 ※「あまらぶ」＝「尼崎を好きなこと」   |
| 事業概要   | まちの魅力を増進し、戦略的・効果的に発信することを目指して、地域資源を活用したシティプロモーション推進事業を行う。  |
| 実施内容   | <p>1 ティーンズサポートチケットPR事業<br/>若い世代の育成のため、総合文化センター等が実施する公演等を若年層が500円で鑑賞できる「ティーンズサポートチケット」のPRを行った。平成27年度は88人が当選し、一流の芸術を体験する機会を提供できたものの、応募者数は年々減少しており、事業の参加者に広がりが見られない。</p> <p>2 まるっとアマガサキ発行等事業<br/>事業のPR効果を高めるため、全庁横断でPRを展開するのに適したテーマを取り上げ、各事業の情報を取りまとめたリーフレット等の情報発信ツールを作成し、戦略的・効果的な情報発信を行う。</p> <p>3 尼崎落研選手権<br/>本市には多くのお笑いタレント、落語家が在りし、地域寄席が市内各地で開催されていることから、「お笑い」「落語」も地域資源の一つであると捉え、近松記念館を活用して「尼崎落研選手権」を開催し、250人の来場があった。11大学（大阪大、大谷大、岡山大、関西大、関学大、岐阜大、京産大、京女大、京都大、名城大、龍谷大）からエントリーがあり、市内外から250人が参加した。</p> <p>4 全国工場夜景サミット開催事業費<br/>ものづくり産業都市として発展してきた本市の魅力を工場夜景の観点から発信する「第6回全国工場夜景サミットin尼崎」を全国工場夜景都市6市（室蘭市、川崎市、富士市、四日市市、周南市、北九州市）と共に開催し、市内外から199人が参加した。</p> <p>5 あまらぶアートラボ運営事業<br/>旧小田公民館城北分館を活用し、若手アーティストの発表・創作の場として若い人の夢やチャレンジを応援するという本市の取り組みを発信する。展覧会2回、ワークショップ5回、トークライブ5回を開催し、1,708人が参加した。</p> |

② 事業費

|           | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考                |
|-----------|--------|--------|------------|-------------------|
| 事業費 A     | 2,575  | 6,495  | 6,936      |                   |
| 旅費        | 0      | 30     |            |                   |
| 需用費       | 1,155  | 2,610  | 2,689      |                   |
| 委託料       | 100    | 637    | 933        |                   |
| 使用料及び賃借料  | 732    | 189    | 100        |                   |
| その他       | 588    | 3,029  | 3,214      | 報償費、備品購入費         |
| 人件費 B     | 12,827 | 19,487 | 20,235     |                   |
| 職員人数      | 1.58   | 2.33   | 2.53       |                   |
| 職員人件費     | 12,491 | 18,465 | 20,235     |                   |
| 嘱託等人件費    | 336    | 1,022  | 0          |                   |
| 合計 C(A+B) | 15,402 | 25,982 | 27,171     |                   |
| C 国庫支出金   |        | 410    |            | (国)地域活性化・地域住民生活等  |
| の 県支出金    | 381    | 750    | 230        | 緊急支援交付金(補助率10/10) |
| 市債        |        |        |            | <<繰越明許費>>         |
| その他       |        |        |            | (県)ふるさとづくり推進事業補助金 |
| 一般財源      | 15,021 | 24,822 | 26,941     |                   |

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |  |       |      |      |      |     |      |       |      |       |
|-----------------|--|-------|------|------|------|-----|------|-------|------|-------|
| 評価指標            | あまらぶFacebookへの「いいね！」件数   |       |      |      |      |     |      | 単位    | 件    |       |
| 目標・実績           | 目標値  | 2,000 | 達成年度 | 29年度 | 25年度 | 995 | 26年度 | 1,639 | 27年度 | 2,280 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った<br>平成27年度で目標を達成したが、魅力ある投稿やイベント等でのPRをさらにを行い、より高い目標を目指す。 |       |      |      |      |     |      |       |      |       |

④ 必要性・有効性の点検

|         |   |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 本市では、平成25年2月に策定した「尼崎版シティプロモーション推進指針」に基づき、まちの魅力を増進し、戦略的・効果的に発信することで交流人口、活動人口を増やし、子育てファミリー層を中心とした定住人口の増につなげていく取り組みを全庁的に実施している。本事業費においては地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成を目的に、全国工場夜景サミットや尼崎落研選手権の開催、あまらぶアートラボの運営などに取り組み、まちの魅力や本市が若い人の夢やチャレンジを応援するまちであるというメッセージを発信している。今後も様々な事業を通じて交流人口、活動人口を増やし、定住人口の増を目指して活動していくにあたり本事業が必要である。 |
|---------|---|

⑤ 受益と負担の適正化の点検

|          |  |   |
|----------|--|---|
| 現状の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 本事業は、市が主体となってまちの魅力を広く知らしめるものであることから、受益者負担を求めることは適正ではない。 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |   |

⑥ 他自治体比較

|               |  |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | 本市においては、地域資源の活用など特有の取組を行っている。<br>なお、全国の自治体が独自のシティプロモーションに取り組んでいる。<br>(近隣市の一例)<br>神戸市 「神戸シティプロモーション映像」の作成<br>宝塚市 シティプロモーションサイト「たからづかな生活」開設<br>篠山市 「ふるさと篠山に住もう帰ろう運動」プロジェクト<br>西宮市 観光案内所の増設 |
|---------------|--|

⑦ 担い手の点検

|         |   |  |               |   |   |  |  |    |   |   |   |   |   |     |  |  |   |   |  |   |
|---------|---|--|---------------|---|---|--|--|----|---|---|---|---|---|-----|--|--|---|---|--|---|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無   | 動画像制作や展覧会の開催等、民間事業者が高度な専門性やノウハウを有する業務について、委託を検討する。 |               |   |   |  |  |    |   |   |   |   |   |     |  |  |   |   |  |   |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地無  |  |               |   |   |  |  |    |   |   |   |   |   |     |  |  |   |   |  |   |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </table> |  | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |  |  | 現状 | A | B | C | D | E | 将来像 |  |  | ○ | ● |  | 現在も一部では各種団体と連携しながら事業を進めているが、将来的にはその範囲や対象をさらに広げていくことを視野に入れる。 |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域   |  |               |   |   |  |  |    |   |   |   |   |   |     |  |  |   |   |  |   |
| 現状      | A   | B  | C             | D | E |  |  |    |   |   |   |   |   |     |  |  |   |   |  |   |
| 将来像     |   |  | ○             | ● |   |  |  |    |   |   |   |   |   |     |  |  |   |   |  |   |

⑧ 総合評価

|      |    |  |
|------|----|--|
| 総合評価 | 改善 | まちのイメージを向上させるためには、まちの持つ魅力を増進し、戦略的・効果的に、さらには継続的に発信する必要があることから、引き続き取り組む必要があるが、実施手法については、より効果的な方法を検討していく。 |
|------|----|--|

⑨ 改善の方向性

|        |   |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 本市の新たな魅力を発掘・増進し、学生や若者、子育て世代など、さらに幅広い市民にとって魅力的な事業の実施及びPRが必要である。また、事業の実施にあたっては、市民と協働しての実施や、部局を越えて庁内で連携して取り組むなど、より効果的な手法を検討していく。 |
|--------|---|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |                 |      |      |          |
|--------|-----------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 尼崎市総合文化センター補助金等 | 1F1A | 事業分類 | 補助金・負担金  |
| 根拠法令   | —               |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —               |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和49年度          |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流        |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |                 |      | 目    | 63 文化振興費 |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 |   |           |
| 局       | 企画財政局   | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男   |   |           |

①事業概要

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 事業実施趣旨                  | 市民文化活動の拠点施設として、優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、尼崎市総合文化センターに対し、補助金を交付する。なお、建物の老朽化が進んでおり、多大な改修経費等が必要となっている。  |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 市民・来訪者  |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 継続的・安定的な経営ができているとともに、市民に低廉で、良質な文化芸術に触れる機会を提供することで、市民が文化芸術に親しんでいる状態。   |
| 事業概要                    | 本市文化振興の核として、尼崎市総合文化センターに補助金を交付し、文化の向上発展を図る。なお、職員人件費及びホール管理費分については、段階的に削減する。(行財政構造改革推進プラン)   |
| 実施内容                    | 優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、以下の事業を実施。<br>1 運営事業費補助(財団職員人件費・ホール管理費・文化事業費(美術展、団体育成))<br>財団の管理運営にかかる経費の一部を補助することにより、継続的・安定的な経営を図る。<br>2 文化振興事業(市展・ふれあいギャラリー・文芸祭・富松薪能・尼崎薪能・演劇祭・新人お笑い大賞・文楽公演)<br>3 郷土画家「白髪一雄」作品発信事業<br>作品を広く一般に公開するとともに、市内の小学校および幼稚園を対象にアウトリーチ事業の実施。<br>4 ちかまつ等関係事業(近松賞・近松ナウ・近松祭)<br>「近松賞」、「近松ナウ」、「近松祭」を実施し、「近松のまち・あまがさき」のPR。<br>「近松賞」については、実施予定を1年後ろ倒して実施。(平成27年度は実施内容なし)<br>5 施設整備<br>利用者及び財団職員の安全を確保するとともに、事故の未然防止、事業の円滑な実施のため、施設の耐震診断の実施。<br>6 高校生のためのオペラ事業<br>新国立劇場を活用した現代芸術の普及活動を市と共催で実施。 |

②事業費

|            | 26年度決算    | 27年度決算  | (参考)28年度予算 | 備考                     |
|------------|-----------|---------|------------|------------------------|
| 事業費 A      | 1,222,537 | 341,483 | 322,039    |                        |
| 負担金補助及び交付金 | 1,221,896 | 340,874 | 321,448    | 平成26年度で建設償還金の支払いが完了    |
| 委託料        | 641       | 609     | 591        |                        |
| 人件費 B      | 2,767     | 2,219   | 3,359      |                        |
| 職員人工数      | 0.35      | 0.28    | 0.42       |                        |
| 職員人件費      | 2,767     | 2,219   | 3,359      |                        |
| 嘱託等人件費     |           |         |            |                        |
| 合計 C(A+B)  | 1,225,304 | 343,702 | 325,398    |                        |
| C 国庫支出金    | 14,231    | 18,216  |            | 【財源内訳について】             |
| 市債         |           |         |            | ○国庫支出金は、各年とも文化芸術振興費補助金 |
| その他        |           | 3,931   | 7,261      | ○その他の平成27・28年度は、       |
| 一般財源       | 1,211,073 | 321,555 | 318,137    | 市町村振興協会市町交付金           |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |         |      |      |      |         |      |         |      |         |
|-----------------|---|---------|------|------|------|---------|------|---------|------|---------|
| 評価指標            | 尼崎市総合文化センター入場者数(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定)   |         |      |      |      |         |      |         | 単位   | 人       |
| 目標・実績           | 目標値   | 450,000 | 達成年度 | 29年度 | 25年度 | 399,000 | 26年度 | 386,000 | 27年度 | 397,000 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input checked="" type="checkbox"/> 下回った<br>平成26年度からホール貸出開始日を1ヶ月前めた他、利用料金の基準見直しや駐車料金の上限設定など利用促進に努めているが目標値には達していない。平成27年度は美術ホールにおいてあまっこアートギャラリー(無料)を開催した結果、昨年より来場者は増となっているが有料入場者数の増には繋がっていない。 |         |      |      |      |         |      |         |      |         |

④必要性・有効性の点検

|         |  |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 市民に低廉で、良質な文化芸術に触れる機会を提供するという社会的なニーズは高く、財団に対する支援は必要であり、市民に文化芸術に親しんでいただくことを通じて、地域文化を振興していくために補助金が有効に活用されていると考える。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |   |
|----------|---|
| 現状の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

|               |  |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | (平成27年度決算額)<br>西宮市:西宮市文化振興財団 20,770千円<br>川西市:川西文化スポーツ振興財団 154,208千円<br>伊丹市:伊丹市文化振興財団 24,894千円<br>※宝塚市・三田市は指定管理者制度導入のため、芦屋市・猪名川町・篠山市は該当団体がないため補助金の支出をしていない。 |
|---------------|--|

⑦担い手の点検

|         |  |
|---------|--|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無  |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地無 |
| 協働の領域   | 市民の領域 ⇄ 行政の領域<br>A B C D E<br>現状 将来像   |
| 内容      | 総合文化センターへの補助事業は、市で行う事業である。   |

⑧総合評価

|      |  |
|------|--|
| 総合評価 | 改善<br>尼崎市総合文化センターに対しては、市民だけでなく市外の人もより利用しやすいようニーズの把握に努めたいと、優れた文化芸術に親しむ機会の提供を行えるよう、主催事業の企画、実施を求め、入場者数、稼働率の増を図っていく。平成28年度には本市の文化行政の指針となる文化ビジョンを策定するが、センターと市の役割分担などについても策定に合わせて整理していく。 |
|------|--|

⑨改善の方向性

|        |  |
|--------|--|
| 今後の改善策 | 総合文化センターは施設や備品の老朽化が進んでおり、ハード面での整備について、中長期的な方針を検討する必要がある。平成28年度中に策定する文化ビジョンを検討する中で、センターと市の役割分担などについて合わせて整理していく。 |
|--------|--|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |                   |      |      |          |
|--------|-------------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 文化団体育成補助金         | 1F1D | 事業分類 | 補助金・負担金  |
| 根拠法令   | —                 |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | 尼崎市文化振興ビジョン(評価:無) |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和40年度            |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流          |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |                   |      | 目    | 63 文化振興費 |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 |   |           |
| 局       | 企画財政局   | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男   |   |           |

①事業概要

|                     |  |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨              | 多彩で創造的な文化活動を振興するためには、文化団体への活動支援を行う必要があることから、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。  |
| 対象(誰を・何を)           | 市民   |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 市民による文化活動の促進が図られている状態。   |
| 事業概要                | 尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。  |
| 実施内容                | 市内で活動している文化団体22団体間の連携と協調を図るとともに、地域文化の向上を図るため、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。 |

②事業費

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考  |
|------------|--------|--------|------------|-----|
| 事業費 A      | 85     | 85     | 81         | 補助金 |
| 負担金補助及び交付金 | 85     | 85     | 81         |     |
| 人件費 B      | 381    | 170    | 344        |     |
| 職員人工数      | 0.01   | 0.00   | 0.00       |     |
| 職員人件費      | 79     | 0      | 0          |     |
| 嘱託等人件費     | 302    | 170    | 344        |     |
| 合計 C (A+B) | 466    | 255    | 425        |     |
| C 国庫支出金    |        |        |            |     |
| 県支出金       |        |        |            |     |
| 市債         |        |        |            |     |
| その他        |        |        |            |     |
| 財源内訳 一般財源  | 466    | 255    | 425        |     |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |    |      |     |      |    |      |    |      |    |
|-----------------|---|----|------|-----|------|----|------|----|------|----|
| 評価指標            | 尼崎市文化団体協議会への加盟団体数(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定)   |    |      |     |      |    | 単位   | 団体 |      |    |
| 目標・実績           | 目標値   | 25 | 達成年度 | 毎年度 | 25年度 | 23 | 26年度 | 22 | 27年度 | 22 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った<br>組織数を維持しつつ、多種多様な文化活動を行っているそれぞれの組織が、文化団体協議会への加盟を通じて、連携や協調を図っている。 |    |      |     |      |    |      |    |      |    |

④必要性・有効性の点検

|         |   |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 市民による文化活動の促進を図るためには、その主体となっている文化団体への活動支援が必要である。また、文化団体自身が単に自立的な活動としてだけでなく、他団体との連携や協調を図りながら活動することで、市民の文化振興に寄与している。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |   |
|----------|---|
| 現状の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

|               |   |
|---------------|---|
| 他自治体及び国との基準比較 | 川西市:文化協会 2,250千円(平成26年度決算)<br>三田市:文化協会 700千円(別途加入団体の事業に対し最大600千円の補助有/平成26年度決算)<br>猪名川町:文化協会 250千円(平成26年度決算)<br>篠山市:文化協会 758千円(平成26年度決算)<br>※西宮市・芦屋市・伊丹市は該当団体なし。宝塚市は文化連盟・文化団体連絡協議会が存在するが、何れの団体にも補助金を支出していない。 |
|---------------|---|

⑦担い手の点検

|         |   |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
|---------|---|---|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|---|-----|--|--|--|--|---|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無   |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無   |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> 内容 補助金事業は、市で行う事業である。 |   | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |  |  |  | A | B | C | D | E | 現状 |  |  |  |  | ● | 将来像 |  |  |  |  | ○ |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域   |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
|         | A   | B | C             | D | E |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 現状      |   |   |               |   | ● |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 将来像     |   |   |               |   | ○ |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |

⑧総合評価

|      |   |
|------|---|
| 総合評価 | 維持<br>ジャンルの異なる各種文化団体が協調しつつ、創造的な文化活動を推進することは、市民の文化振興の面から大きな意義があることから、団体間の連携を図る同協議会を継続させていく必要がある。 |
|------|---|

⑨改善の方向性

|        |   |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 文化団体と市や尼崎市総合文化センター諸事業との連携や事務見直しについて検討する必要がある。 |
|--------|---|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |                           |      |      |          |
|--------|---------------------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | (仮称)文化振興ビジョン策定事業費         | 1F14 | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | 文化芸術振興基本法、劇場、音楽の活性化に関する法律 |      | 事業区分 | 義務等      |
| 個別計画   | 尼崎市文化振興ビジョン               |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 平成27年度                    |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流                  |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |                           |      | 目    | 63 文化振興費 |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 |   |           |
| 局       | 企画財政局   | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男   |   |           |

①事業概要

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事業実施趣旨                  | 本市の文化を学び発信する取組を推進するため、本市の文化行政の指針となる(仮称)文化振興ビジョンを策定する。  |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 市民・事業者・行政  |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 本市の文化行政の指針となる(仮称)文化振興ビジョンが策定されるとともに、その策定プロセスを通じて、市民や行政、関係団体等によって、文化に関する理解を共有し、新たな文化振興ビジョンを基にした施策を推し進めていくことができる状態。  |
| 事業概要                    | 本市の文化を学び発信する取組を推進するため、本市の文化行政の指針となる(仮称)文化振興ビジョンを策定するにあたり、庁内で会議体を設置し、検討を行う。   |
| 実施内容                    | 平成28年度での(仮称)文化振興ビジョン策定に向け、庁内での検討を行うため、関係課からなる(仮称)文化振興ビジョン庁内検討会議を設置した。平成27年度は会議を2回開催し、現行ビジョンの検証や、新ビジョンで示す範囲等について意見交換を行い、文化の定義を幅広く捉え、検討していくことを確認した。<br><br>また、策定支援業務を委託するため、公募型プロポーザルを実施した。(契約は平成28年度) |

②事業費

(単位:千円)

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考    |
|------------|--------|--------|------------|-------|
| 事業費 A      | 0      | 1      | 8,140      |       |
| 使用料及び賃借料   |        | 1      | 67         | 会場使用料 |
| 委託料        |        |        | 7,000      |       |
| 報償費        |        |        | 918        |       |
| 需用費        |        |        | 93         |       |
| 旅費         |        |        | 62         |       |
| 人件費 B      | 0      | 7,767  | 9,084      |       |
| 職員人工数      |        | 0.98   | 1.11       |       |
| 職員人件費      |        | 7,767  | 8,878      |       |
| 嘱託等人件費     |        | 0      | 206        |       |
| 合計 C (A+B) | 0      | 7,768  | 17,224     |       |
| C の財源内訳    |        |        |            |       |
| 国庫支出金      |        |        |            |       |
| 県支出金       |        |        |            |       |
| 市債         |        |        |            |       |
| その他        |        |        |            |       |
| 一般財源       | 0      | 7,768  | 17,224     |       |

(このページは白紙です)

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |           |      |      |          |
|--------|-----------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 声の広報発行事業費 | 1221 | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | —         |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —         |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和54年度    |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流  |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |           |      | 目    | 15 広報費   |

|         |                                      |   |           |
|---------|--------------------------------------|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-2) まちの魅力を積極的に発信し、良好な都市イメージを創造する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                | 課 | 魅力発信・報道担当 |
| 所属長名    | 井上 潤一                                |   |           |

①事業概要

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事業実施趣旨                  | 「市報あまがさき」では、視覚障害者に本市の諸施策やまちづくりに関する情報を提供することができず、情報の共有化が図れないため、「声の広報」を発行する。   |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 市内在住の視覚障害者(1・2級)   |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 市政情報やまちの情報などを分かりやすく提供することで、市政に対する関心と理解が深まっている状態。また、まちの魅力を情報収集・発信することで、まちに愛着を持つ市民が増加している状態。   |
| 事業概要                    | 視覚障害者向けに「市報あまがさき」の内容をテープまたはCD、デジター図書に収録した「声の広報」を希望者に届ける(平成26年11月号からカセットテープを廃止し、CD・デジター図書を導入)   |
| 実施内容                    | (発行数)<br>「市報あまがさき」の発行に合わせて年間12回発行。<br><br>(対象)<br>市内在住の視覚障害者(1・2級)で、「点字あまがさき」が「声の広報」のいずれか希望するものを送付する。<br><br>(実績)<br>月平均68部(デジター46+CD22) |

②事業費

|           | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考      |
|-----------|--------|--------|------------|---------|
| 事業費 A     | 1,710  | 1,169  | 1,661      |         |
| 委託料       | 1,675  | 1,169  | 1,661      | 編集業務    |
| 備品購入費     | 35     |        |            | プレクストーク |
| 人件費 B     | 1,028  | 1,427  | 2,000      |         |
| 職員人工数     | 0.13   | 0.18   | 0.25       |         |
| 職員人件費     | 1,028  | 1,427  | 2,000      |         |
| 嘱託等人件費    |        |        |            |         |
| 合計 C(A+B) | 2,738  | 2,596  | 3,661      |         |
| C 国庫支出金   |        |        |            |         |
| の 県支出金    |        |        |            |         |
| 財源 市債     |        |        |            |         |
| 内訳 その他    |        |        |            |         |
| 一般財源      | 2,738  | 2,596  | 3,661      |         |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |   |      |   |    |      |     |      |     |      |     |
|-----------------|---|---|------|---|----|------|-----|------|-----|------|-----|
| 評価指標            | 年間の発行部数(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定)   |   |      |   |    |      | 単位  | 部    |     |      |     |
| 目標・実績           | 目標値   | — | 達成年度 | — | 年度 | 25年度 | 675 | 26年度 | 729 | 27年度 | 816 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った<br>「尼崎市民べんり帳」などを通じ、同事業の周知を図っていく。 |   |      |   |    |      |     |      |     |      |     |

④必要性・有効性の点検

|         |   |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 市政情報の提供及び共有という面において、必要であるとする。また、視覚障害があり、かつ点字が読めない人を対象とした有効な唯一の手段であり、一定の効果が得られていると考える。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |  |  |
|----------|--|--|
| 現在の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 本事業は、市政情報などを提供するものであり、受益者負担を求めることは適正でない。 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |  |

⑥他自治体比較

|               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間他都市も、同様に声の広報を発行している。 |
|---------------|-------------------------|

⑦担い手の点検

|         |  |                     |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
|---------|--|---------------------|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|---|--|-----|--|--|--|---|--|----|------------------------------------|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無  | 編集業務については、既に実施している。 |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無  |                     |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> |                     | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |  |  |  | A | B | C | D | E | 現状 |  |  |  | ● |  | 将来像 |  |  |  | ○ |  | 内容 | 編集業務については、今後もNPOまたは民間業者に委託する予定である。 |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域  |                     |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
|         | A  | B                   | C             | D | E |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 現状      |  |                     |               | ● |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 将来像     |  |                     |               | ○ |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |

⑧総合評価

|      |    |   |
|------|----|---|
| 総合評価 | 維持 | 市政情報の提供及び共有という面において、視覚障害があり、かつ点字が読めない人を対象としているものとしては、唯一の手段になっていることから、今後も事業を継続することが適当であるとする。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 今後の改善策 | より使いやすい「声の広報」づくりを心掛ける |
|--------|-----------------------|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |              |      |      |          |
|--------|--------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 市報あまがさき発行事業費 | 121A | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | 市報あまがさき発行規則  |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —            |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和17年度       |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流     |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |              |      | 目    | 15 広報費   |

|         |                                      |   |           |
|---------|--------------------------------------|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-2) まちの魅力を積極的に発信し、良好な都市イメージを創造する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                | 課 | 魅力発信・報道担当 |
| 所属長名    | 井上 潤一                                |   |           |

①事業概要

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事業実施趣旨                  | 市政情報を市民や事業者確実に伝達し、市政に対する関心と理解を深めてもらうため、市報あまがさきを発行する。   |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 市内全世帯・事業所  |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 市政情報やまちの情報などを分かりやすく提供することで、市政に対する関心と理解が深まっている状態。また、まちの魅力を情報収集・発信することで、まちに愛着を持つ市民が増加している状態。   |
| 事業概要                    | 市報あまがさき(月1回)の発行 年12回   |
| 実施内容                    | <p>1 市報あまがさき発行事業費<br/>市政情報やまちの情報を掲載した「市報あまがさき」を作成し、市内全世帯・事業所に配布する。<br/> 広報紙とマイ広報紙による情報発信を開始(平成28年3月号から)</p> <p>(発行物)<br/>通常号(毎月1日発行・32ページ9カ月、24ページ3カ月):特集記事、市政情報、お知らせなど(発行部数)<br/>月平均:233,253部<br/>(実績)60,834千円</p> <p>2 市報あまがさき編集事業費<br/>人材派遣(1人)<br/>(実績)2,619千円</p> <p>3 市報あまがさき発行事業費(システム)<br/>編集機器のリース代<br/>(実績)2,040千円</p> |

②事業費

|           | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考          |
|-----------|--------|--------|------------|-------------|
| 事業費 A     | 61,174 | 65,493 | 71,338     |             |
| 需用費       | 33,985 | 36,049 | 40,609     | 印刷製本費       |
| 役務費       | 59     | 59     | 60         | データ送受信通信費   |
| 委託料       | 25,090 | 27,313 | 28,469     | 市報配布・人材派遣業務 |
| 使用料及び賃借料  | 2,040  | 2,040  | 2,100      | DTP機器リース料   |
| その他       | 0      | 32     | 100        | 報償費         |
| 人件費 B     | 20,843 | 19,124 | 20,028     |             |
| 職員人工数     | 2.16   | 2.16   | 2.00       |             |
| 職員人件費     | 17,077 | 17,118 | 15,996     |             |
| 嘱託等人件費    | 3,766  | 2,006  | 4,032      |             |
| 合計 C(A+B) | 82,017 | 84,617 | 91,366     |             |
| C 国庫支出金   |        |        |            |             |
| の 県支出金    |        |        |            |             |
| 財源 市債     |        |        |            |             |
| 内 其他      |        |        |            |             |
| 訳 一般財源    | 82,017 | 84,617 | 91,366     |             |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |     |      |     |      |    |      |     |      |    |
|-----------------|---|-----|------|-----|------|----|------|-----|------|----|
| 評価指標            | あまサポねつを活用したアンケート「広報誌及び広報番組について」の集計結果(問 市報あまがさきを読みますか?)  |     |      |     |      |    |      | 単位  | %    |    |
| 目標・実績           | 目標値   | 100 | 達成年度 | 毎年度 | 25年度 | 97 | 26年度 | 100 | 27年度 | 97 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った<br>目標値を概ね達成できた。 |     |      |     |      |    |      |     |      |    |

④必要性・有効性の点検

|         |  |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 市政情報の提供と共有、自主広報という面において、非常に有効な手段であり、必要性は高い。また、市内全世帯・事業所に配布しており、一定の効果が得られていると考える。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |  |  |
|----------|--|--|
| 現状の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 本事業は、市政情報などを提供するものであり、受益者負担を求めることは適正でない。 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |  |

⑥他自治体比較

|               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間他都市も同様に広報誌を発行している。 |
|---------------|-----------------------|

⑦担い手の点検

|         |  |  |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                      |
|---------|--|--|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|---|--|-----|--|--|--|---|--|----|--------------------------------------|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無  | 印刷と配布業務については既に実施している。現在、業務委託していない業務について、外部委託可能かどうかを検討する。<br>(人材派遣については、平成27年度まで実施) |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                      |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地無   |  |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                      |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> |  | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |  |  |  | A | B | C | D | E | 現状 |  |  |  | ● |  | 将来像 |  |  |  | ○ |  | 内容 | 一部業務については、現在、民間委託をしており、今後も委託する予定である。 |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域  |  |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                      |
|         | A  | B  | C             | D | E |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                      |
| 現状      |  |  |               | ● |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                      |
| 将来像     |  |  |               | ○ |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                      |

⑧総合評価

|      |    |  |
|------|----|--|
| 総合評価 | 改善 | 読みやすく、親しみやすい誌面作りのため、市報の構成や編集体制を見直す中で、年間総ページ数の増についても検討する。 |
|------|----|--|

⑨改善の方向性

|        |  |
|--------|--|
| 今後の改善策 | 本市の諸施策など、まちづくりに関する情報を市民及び事業者に分かりやすく提供し、市民生活の利便性を向上させるとともに、市政に対する関心と理解を深め、情報の共有化を図っていく。 |
|--------|--|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |              |      |      |          |
|--------|--------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 点字あまがさき発行事業費 | 121K | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | —            |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —            |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和43年        |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流     |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |              |      | 目    | 15 広報費   |

|         |                                      |   |           |
|---------|--------------------------------------|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-2) まちの魅力を積極的に発信し、良好な都市イメージを創造する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                | 課 | 魅力発信・報道担当 |
| 所属長名    | 井上 潤一                                |   |           |

①事業概要

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事業実施趣旨                  | 「市報あまがさき」では視覚障害者に本市の諸施策やまちづくりに関する情報を提供することができず、情報の共有化が図れないため、「点字あまがさき」を発行する。   |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 市内在住の視覚障害者(1・2級)   |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 市政情報やまちの情報などを分かりやすく提供することで、市政に対する関心と理解が深まっている状態。また、まちの魅力を情報収集・発信することで、まちに愛着を持つ市民が増加している状態。                               |
| 事業概要                    | 視覚障害者向けに「市報あまがさき」の内容を点訳した「点字あまがさき」を希望者に届ける。  |
| 実施内容                    | (発行数)<br>「市報あまがさき」の発行に合わせて年12回発行<br><br>(対象)<br>市内在住の視覚障害者(1・2級)で、「点字あまがさき」が「声の広報」のいずれかが希望するものを送付。<br><br>(実績)<br>月平均20部 |

②事業費

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考     |
|------------|--------|--------|------------|--------|
| 事業費 A      | 2,507  | 2,724  | 2,729      |        |
| 委託料        | 2,507  | 2,724  | 2,729      | 編集業務委託 |
| 人件費 B      | 1,028  | 1,902  | 2,000      |        |
| 職員人工数      | 0.13   | 0.24   | 0.25       |        |
| 職員人件費      | 1,028  | 1,902  | 2,000      |        |
| 嘱託等人件費     |        |        |            |        |
| 合計 C (A+B) | 3,535  | 4,626  | 4,729      |        |
| C 国庫支出金    |        |        |            |        |
| の 県支出金     |        |        |            |        |
| 財 市債       |        |        |            |        |
| 源 その他      |        |        |            |        |
| 内 一般財源     | 3,535  | 4,626  | 4,729      |        |
| 訳          |        |        |            |        |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |   |      |   |    |      |     |      |     |      |     |
|-----------------|---|---|------|---|----|------|-----|------|-----|------|-----|
| 評価指標            | 年間の発行部数(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定)   |   |      |   |    |      | 単位  | 部    |     |      |     |
| 目標・実績           | 目標値   | — | 達成年度 | — | 年度 | 25年度 | 399 | 26年度 | 305 | 27年度 | 236 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った<br>発行部数は、近年減少傾向にあるが、「心身障害者児福祉の手引き」や「尼崎市民べんり帳」などを通じ、同事業の周知を図っていく。 |   |      |   |    |      |     |      |     |      |     |

④必要性・有効性の点検

|         |  |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 市政情報の提供及び共有という面において、必要であるとする。また、視覚障害者がある人を対象としたものとしては、「声の広報」と併せて有効な手段の一つとなっており、一定の効果が得られていると考える。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |  |   |
|----------|--|---|
| 現状の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 本事業は、市政情報などを提供するものであり、受益者負担を求めることは適正ではない。 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |   |

⑥他自治体比較

|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間では、西宮市、芦屋市、川西市が同事業を実施している。 |
|---------------|-------------------------------|

⑦担い手の点検

|         |  |                     |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
|---------|--|---------------------|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|---|--|-----|--|--|--|---|--|----|------------------------------------|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無  | 編集業務については、既に実施している。 |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無  |                     |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> |                     | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |  |  |  | A | B | C | D | E | 現状 |  |  |  | ● |  | 将来像 |  |  |  | ○ |  | 内容 | 編集業務については、今後もNPOまたは民間業者に委託する予定である。 |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域  |                     |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
|         | A  | B                   | C             | D | E |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 現状      |  |                     |               | ● |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |
| 将来像     |  |                     |               | ○ |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |   |  |     |  |  |  |   |  |    |                                    |

⑧総合評価

|      |    |   |
|------|----|---|
| 総合評価 | 維持 | 市政情報の提供及び共有という面において、視覚障害者がある人を対象にしたものとしては、「声の広報」と併せて有効な手段の一つとなっていることから、今後も事業を継続することが適当であるとする。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

|        |  |
|--------|--|
| 今後の改善策 | 点字版を作成していない他都市の状況も踏まえ、代替媒体での対応なども検討していく。 |
|--------|--|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |           |      |      |          |
|--------|-----------|------|------|----------|
| 事務事業名  | まち情報発信事業費 | 1932 | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | —         |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —         |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 平成21年度    |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流  |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |           |      | 目    | 60 企画費   |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                       | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男                                       |   |           |

① 事業概要

|                     |  |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨              | 交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口（定住人口）の増を目指し、本市が持つ歴史や伝統、文化や産業などのまちの魅力を増進し、ホスピタリティを持って戦略的・効果的に発信する。   |
| 対象（誰を・何を）           | 市民・来訪者等  |
| 求める成果（どのような状態にしたいか） | 市民がわがまちに対して愛着と誇りを持ち、商業界や産業界をはじめとした事業者や各種団体が、自主的に観光振興や交流人口拡大に向けた取組を行い、ホスピタリティあふれるまちとなるとともに、交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口（定住人口）が増加している状態。   |
| 事業概要                | あまらぶインフォメーション事業<br>JR尼崎駅構内に案内所を設置・運営することで、本市の魅力を発信する拠点とする。また、観光・集客事業により魅力を増進、ホームページやSNSツールにより魅力を戦略的・効果的に発信する。  |
| 実施内容                | あまらぶインフォメーション事業<br>・案内所の運営<br>JR尼崎駅構内に5月27日にあまがさき・魅力案内所「あまらぶ+Plus」を開業、観光相談・案内や情報発信等を行った。<br>5月27日～3月31日 来所者8,123人、電話・FAX・メール含む利用者計8,918人<br>・Webコンテンツ、パンフレットラックの運営<br>尼崎観光交流サイト「あまらぶ」、Twitterによる情報発信、市内駅・ホテル等に設置のパンフレットラックの運営を行った。<br>・観光・集客事業<br>あまらぶ体験隊第11～15弾 計91名参加<br>こどものためのあまらぶワークショップ（2月13日実施）約5,000人<br><br>尼崎おもてなしパンフレット作成事業<br>外国人観光客に本市の魅力を発信するため、案内冊子を作成した。英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、日本語の5ヶ国語で、合計10万部を作成。尼崎市内のホテル、阪神電車尼崎駅、あまらぶ+Plusほかで配布している。 |

② 事業費

|           | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考                |
|-----------|--------|--------|------------|-------------------|
| 事業費 A     | 20,662 | 22,006 | 18,306     |                   |
| 需用費       |        | 732    | 62         |                   |
| 委託料       | 20,236 | 16,291 | 17,679     |                   |
| 使用料及び賃借料  |        | 361    | 450        | 案内所賃借料            |
| 工事請負費     |        | 961    |            | 案内所整備工事           |
| その他       | 426    | 3,661  | 115        | H27: 役務費、備品購入費    |
| 人件費 B     | 8,064  | 8,355  | 8,595      |                   |
| 職員人工数     | 1.02   | 1.05   | 0.98       |                   |
| 職員人件費     | 8,064  | 8,321  | 7,838      |                   |
| 嘱託等人件費    | 0      | 34     | 757        |                   |
| 合計 C(A+B) | 28,726 | 30,361 | 26,901     |                   |
| C 国庫支出金   |        | 5,220  |            | 地域活性化・地域住民生活等     |
| 県支出金      |        |        |            | 緊急支援交付金(補助率10/10) |
| 市債        |        |        |            | 《現年》3,000         |
| その他       |        |        |            | 《繰越明許費》2,220      |
| 一般財源      | 28,726 | 25,141 | 26,901     |                   |

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |       |      |      |      |       |      |       |      |       |
|-----------------|---|-------|------|------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 評価指標            | 観光客入込客数   |       |      |      |      |       |      | 単位    | 千人   |       |
| 目標・実績           | 目標値   | 2,200 | 達成年度 | 29年度 | 25年度 | 2,091 | 26年度 | 2,110 | 27年度 | 2,312 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った<br>観光客入込客数が着実に増え、平成27年度で目標値を達成した。今後も引き続き、入込客数の増に取り組むとともに、外国人観光客への対応も検討していく。 |       |      |      |      |       |      |       |      |       |

④ 必要性・有効性の点検

|         |  |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 尼崎版シティプロモーション推進指針に基づき、今後も交流・活動人口、定住人口増に向けた取組を続けていく必要がある。市内外問わず多くの人に、まちの魅力を戦略的・効果的に発信していくための運営を目指す。 |
|---------|--|

⑤ 受益と負担の適正化の点検

|                 |   |
|-----------------|---|
| 現状の受益者負担見直しの必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無<br><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無<br>観光・集客事業においては、適宜参加者へ実費負担を求めており、今後も必要に応じて受益者負担を求めながら、事業を実施していく。 |
|-----------------|---|

⑥ 他自治体比較

|              |   |
|--------------|---|
| 他自治体及び国の基準比較 | 阪神間他都市では観光協会が設置されており、観光名所や名産品、グルメスポット等が多数紹介されている。 |
|--------------|---|

⑦ 担い手の点検

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 現状の委託等  | <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無<br><input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地無 | 効果的な情報発信や誘客に係る企画等については、民間事業者のノウハウや対応の柔軟性などを活用する必要があるが、市内の多様な主体との連携や事業の企画・調整については、市の関与が一定必要であるため、現状のまま事業の一部を委託する。 |
| 委託等の可能性 |  |  |
| 協働の領域   | 市民の領域 ⇄ 行政の領域<br>A B C D E<br>現状 将来像   | 内容   |
|         |  | 現在も一部では各種団体と連携しながら事業を進めているが、将来的にはその範囲や対象をさらに広げていくことを視野に入れる。  |

⑧ 総合評価

|      |    |  |
|------|----|--|
| 総合評価 | 改善 | インバウンドの取組については、今後、実態把握や現状分析を行うとともに、城内地区の整備計画や周辺地域の活性化等も含め、庁内外を問わず、幅広い立場からの意見交換を行う中で検討を進めていく。 |
|------|----|--|

⑨ 改善の方向性

|        |   |
|--------|---|
| 今後の改善策 | あまがさき・魅力案内所「あまらぶ+Plus」の窓口や、Webコンテンツ・紙媒体の利用拡大により、まちの魅力をより戦略的・効果的に発信していく。ただし、現在の案内所は約11㎡と非常に狭小なため、活用方法に制限があるが、引き続き効率的・効果的な活用について検討する必要がある。インバウンドの取組については、広い立場からの意見交換を行い、検討を進めていく。 |
|--------|---|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |                 |      |      |          |
|--------|-----------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | ひょうごツーリズム協会等負担金 | 1938 | 事業分類 | 補助金・負担金  |
| 根拠法令   | —               |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —               |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和27年度          |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流        |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |                 |      | 目    | 60 企画費   |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                       | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男                                       |   |           |

①事業概要

|                     |  |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨              | 公益社団法人ひょうごツーリズム協会および歴史街道推進協議会に加入し、観光事業の情報・ノウハウを習得するとともに、地域資源を活かした戦略的な情報発信を行う。  |
| 対象(誰を・何を)           | 市民、全国・海外の人々  |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | まちの魅力の向上につなげるため、様々な地域資源やイベント等の戦略的な情報発信ができていく状態。  |
| 事業概要                | 様々な地域資源やイベント等について、戦略的な情報発信を行うため、広域的なネットワークを有する同協会に対し、負担金を支出する。   |
| 実施内容                | <p>歴史街道推進協議会に参画すると、市民をはじめ全国や海外へのPRとして、同協議会の発行するパンフレットや冊子などの各種媒体により情報発信される。</p> <p>1 同協議会提供のパンフレット<br/>・平成28年1月1日号「TOKK」近松門左衛門</p> <p>2 同協議会発行リーフレット「西国街道」<br/>「西国街道」連携事業で、関係自治体が強調して展示や講座、ウォークなどを実施し、リーフレットを発行。<br/>・「髭の渡し跡」、「武庫川コスモス園」、「富松城跡」、「尼崎市立文化財収蔵庫」掲載</p> <p>3 「歴史の旅人」2016年春号掲載</p> <p>■「あいたい兵庫 2015春・夏号」(尼崎寺町七福神めぐり)<br/>■「あいたい兵庫 2015秋・冬号」(尼崎寺町コース、近松の里コース、尼崎地名スタンプラリー)<br/>■「ひょうごツーリズムMAP」<br/>■ツーリズム協会HP随時更新</p> |

②事業費

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考                                  |
|------------|--------|--------|------------|-------------------------------------|
| 事業費 A      | 360    | 290    | 290        |                                     |
| 負担金補助及び交付金 | 360    | 290    | 290        | ひょうごツーリズム協会年会費260<br>歴史街道推進協議会年会費30 |
| 人件費 B      | 553    | 1,393  | 138        |                                     |
| 職員人工数      | 0.07   | 0.15   | 0.00       |                                     |
| 職員人件費      | 553    | 1,189  | 0          |                                     |
| 嘱託等人件費     | 0      | 204    | 138        |                                     |
| 合計 C (A+B) | 913    | 1,683  | 428        |                                     |
| Cの財源内訳     |        |        |            |                                     |
| 国庫支出金      |        |        |            |                                     |
| 県支出金       |        |        |            |                                     |
| 市債         |        |        |            |                                     |
| その他        |        |        |            |                                     |
| 一般財源       | 913    | 1,683  | 428        |                                     |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |   |      |   |    |      |   |      |   |      |   |
|-----------------|---|---|------|---|----|------|---|------|---|------|---|
| 評価指標            | —   |   |      |   |    |      |   | 単位   | — |      |   |
| 目標・実績           | 目標値   | — | 達成年度 | — | 年度 | 25年度 | — | 26年度 | — | 27年度 | — |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った                              |   |      |   |    |      |   |      |   |      |   |
|                 | 平成27年度は、「あいたい兵庫キャンペーン2015ガイドブック」、協会HPへの掲載、歴史街道推進協議会への参画等、本市の観光情報のPRおよび観光関連情報収集など一定の効果はあるが、情報発信力の強化、情報の露出機会の増加、露出効果向上など改善を働きかけが必要。 |   |      |   |    |      |   |      |   |      |   |

④必要性・有効性の点検

|         |  |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | ひょうごツーリズム協会への参画により、本市の観光情報のPR及び観光に関する情報収集を行っている。ガイドブックやホームページなどを通じた情報の露出や、キャンペーンと連動したまち歩き企画、PRキャラバンへの参加など、同協会への参画を通じ、本市単独では難しい広域的なPRが可能である。<br>歴史街道推進協議会の参画により、パンフレットやチラシといった情報の露出や、同協議会が運営するまち歩き企画との連携など、同協議会への参画を通じた様々な取組が可能であるとともに、他の参画会員都市との交流により、情報交換や人脈構築といった点で、有効である。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |   |
|----------|---|
| 現状の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

|               |   |
|---------------|---|
| 他自治体及び国との基準比較 | 県内全市町が会員となっている。<br>歴史街道推進協議会が進めている伊勢～飛鳥～奈良～京都～大阪～神戸をつなぐ歴史街道沿いの各市が本市同様に負担金を負担している。近隣：西宮市、宝塚市、神戸市、大阪市など |
|---------------|---|

⑦担い手の点検

|         |  |   |               |   |   |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
|---------|--|---|---------------|---|---|----|--|----|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|--|---|-----|--|--|--|--|--|---|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無  |   |               |   |   |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無  |   |               |   |   |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> <td rowspan="2">内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> 地方公共団体等で構成される協会に会員として参画しており、市の主体性によって行う事業である。 |   | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |    |  | 内容 |  | A | B | C | D | E | 現状 |  |  |  |  |  | ● | 将来像 |  |  |  |  |  | ○ |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域  |   |               |   |   | 内容 |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
|         | A  | B | C             | D | E |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 現状      |  |   |               |   |   | ●  |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 将来像     |  |   |               |   |   | ○  |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |

⑧総合評価

|      |    |  |
|------|----|--|
| 総合評価 | 改善 | ひょうごツーリズム協会発行のパンフレット等に市内施設やイベント、ボランティアガイドが取り上げられ、広範囲にPRされるなど、一定の効果がある。一方で、効果的・効率的な事業執行が求められる中で、本事業の必要性を含めて情報発信のあり方を検討していく。<br>歴史街道推進協議会発行のパンフレット等に取り上げられ、広範囲にPRすることができた。また、「西国街道」連携事業に参画し、他自治体と連携して事業を展開するなど、一定の効果がある。一方で、効果的・効率的な事業執行が求められる中で、本事業の必要性を含めて情報発信のあり方を検討していく。 |
|------|----|--|

⑨改善の方向性

|        |   |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 露出効果や露出機会の拡大の観点から、キャンペーンのテーマに沿った企画を実施することや媒体に適した効果的な方法について検討し、さらなるPR効果を狙う。また、発言機会を捉えて、さらに尼崎市が取り上げられるよう努力していく。 |
|--------|---|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |                |      |      |          |
|--------|----------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 友好都市鞍山市交流関係事業費 | 102H | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | —              |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —              |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和57年度         |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流       |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |                |      | 目    | 05 一般管理費 |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                       | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男                                       |   |           |

①事業概要

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 事業実施趣旨                  | 提携時の趣旨である「経済・科学技術・文化・教育・体育等の各分野の交流を通じ、両市民の相互理解と親善を深め、日中間の友好を促進する」ことを目的に実施している。なお、国家体制の違いや財政状況等により、交流面での制限が多いことから、幅広い交流を継続するためのプログラムの実現について、両市間の協議が必要である。   |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 市民及び鞍山市民   |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 鞍山市からの代表団を受け入れることで、市・市議会といった行政を中心に両市の相互理解及び友好関係が深まっているとともに、両市の小学生が書画交流に参画することで、小学生はもとより市民の中国に対する理解及び友好意識が高まっている状態。   |
| 事業概要                    | 鞍山市からの訪問者及び訪問団を受け入れ、表敬訪問、各界関係団体との交流、市内・近隣都市視察、市民交流会等を実施する。一方、本市からも訪問団を派遣し、表敬訪問、各界関係団体との交流や視察等を行う。また、小学生による書画の交換交流を行う。  |
| 実施内容                    | <p>1 尼崎市小学生代表団派遣事業 472千円<br/>平成25年度の友好都市提携30周年を機に、小学生代表団の相互派遣を行い友好を深める。<br/>(平成27年8月5日～8月8日)表敬訪問、小学校での交流活動、市内視察等</p> <p>2 鞍山市小学生書画交流事業費 28千円<br/>友好都市と書画交流により、友好交流を深めるとともに、市民の国際感覚の涵養を図る。<br/>①あまがさきキューズモール(平成27年12月10日～12月16日) 来場者数:243,935人<br/>②阪急塚口サービセンター(平成28年2月3日～2月29日) 来場者数:7,644人<br/>③本庁南館1階ロビー(平成28年2月2日～2月18日) 来場者数:1,788人</p> <p>3 鞍山市代表団受入事業受入事業(※執行なし)<br/>受入を予定していた鞍山市から代表団が来尼しなかったため、事業実施せず。</p> |

②事業費

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考               |
|------------|--------|--------|------------|------------------|
| 事業費 A      | 417    | 500    | 331        |                  |
| 報償費        | 48     | 54     | 63         | 記念品              |
| 旅費         |        | 174    |            | 派遣旅費             |
| 委託料        | 161    |        |            |                  |
| 負担金補助及び交付金 |        | 252    |            | 団員旅費補助           |
| その他        | 208    | 20     | 268        | 消耗品、印刷製本費、受入宿泊費等 |
| 人件費 B      | 1,985  | 931    | 1,032      |                  |
| 職員人工数      | 0.06   | 0.01   | 0.00       |                  |
| 職員人件費      | 474    | 79     | 0          |                  |
| 嘱託等人件費     | 1,511  | 852    | 1,032      |                  |
| 合計 C(A+B)  | 2,402  | 1,431  | 1,363      |                  |
| Cの財源内訳     |        |        |            |                  |
| 国庫支出金      |        |        |            |                  |
| 県支出金       |        |        |            |                  |
| 市債         |        |        |            |                  |
| その他        |        |        |            |                  |
| 一般財源       | 2,402  | 1,431  | 1,363      |                  |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |     |      |      |      |                |      |                |      |                 |
|-----------------|---|-----|------|------|------|----------------|------|----------------|------|-----------------|
| 評価指標            | 事業に係る1次交流(両市の派遣・受入に関わる人数)。括弧内は2次交流(書画交流など間接的に事業に関わった人数)。成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定。  |     |      |      |      |                |      | 単位             | 人    |                 |
| 目標・実績           | 目標値   | 100 | 達成年度 | 28年度 | 25年度 | 70<br>(10,006) | 26年度 | 109<br>(8,436) | 27年度 | 66<br>(253,517) |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input checked="" type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った<br>尼崎市小学生代表団を派遣したが、交流人数は昨年度の鞍山市小学生代表団受入時より減少。ただし平成25年の派遣時と比較すると横ばいとなっている。引き続き、目標値達成に向け努力する。また小学生書画交流展についてはキューズモールを会場にしたほか、巡回展示を行い交流人数の拡大を図った。 |     |      |      |      |                |      |                |      |                 |

④必要性・有効性の点検

|         |  |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 本市と友好都市鞍山市との間で結ばれた都市提携に基づく交流であり、市民の国際感覚の涵養やまちの魅力創造・活性化に資することから、友好交流を継続する必要がある。こうした中で、交流事業の実施にあたって、効果的・効率的な執行について検討を進めていく必要がある。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |  |   |
|----------|--|---|
| 現状の受益者負担 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | 小学生書画交流事業については、書画制作にかかる費用は出品者自身が負担している。 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |   |

⑥他自治体比較

|               |   |
|---------------|---|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間における中国の都市と友好都市提携している自治体:西宮市、伊丹市<br>その他県下で中国の都市と友好都市提携している自治体:兵庫県、神戸市、姫路市、明石市、多可町、播磨町<br>阪神間の姉妹・友好都市提携数:西宮市4(アメリカ、フランス、ブラジル、中国)、芦屋市1(アメリカ)、伊丹市2(ベルギー、中国)、宝塚市2(アメリカ、オーストラリア)、川西市1(アメリカ)、三田市3(オーストラリア、韓国、アメリカ)、篠山市2(ギリシア、アメリカ)、猪名川町1(オーストラリア) |
|---------------|---|

⑦担い手の点検

|         |  |   |
|---------|--|---|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無  | 書画交流展示は平成26年度まで委託していた。  |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地無 |   |
| 協働の領域   | 市民の領域 ⇄ 行政の領域<br>A B C D E<br>現状 ○<br>将来像 ○  | 市民交流・経済交流は関係機関や企業等との連携が重要であり、今後とも強固なものにしていく。一方、教育交流など、分野によっては行政が主体とならざるを得ないものもある。 |

⑧総合評価

|      |    |   |
|------|----|---|
| 総合評価 | 改善 | 平成21年度から実施している小学生書画交流が定期的な交流へと結びついた。小学生交流についても平成25年度の友好都市提携30周年を機に隔年で派遣・受入を実施している。鞍山市交流関係事業については、今後も社会状況の変化にあわせた交流分野について、また効果的・効率的な交流事業のあり方について検討を行っていく必要がある。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

|        |   |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 国際情勢等により、市民相互よりも行政が中心となる交流とならざるを得ない状況にあるとともに、従前と比較し、訪問団の往来も少なくなっている。こうした中、効果的かつ効率的な交流事業や市民への周知に向けた検討を行っていく。 |
|--------|---|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |           |      |      |          |
|--------|-----------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 国際交流事業補助金 | 102J | 事業分類 | 補助金・負担金  |
| 根拠法令   | —         |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —         |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和56年度    |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流  |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |           |      | 目    | 05 一般管理費 |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                       | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男                                       |   |           |

①事業概要

|                     |   |
|---------------------|---|
| 事業実施趣旨              | 姉妹・友好都市その他諸外国からの来訪者や在住外国人市民との交流を行い、国際間の相互理解を促進している尼崎市国際交流協会は、外国人への日本語教育支援など、行政では捕捉できない草の根レベルでの国際交流事業を実施しており、行政として、市民主体で担っていくことが望ましい事業に対し、補助金を交付する。  |
| 対象(誰を・何)            | 市民及び諸外国の市民等   |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 姉妹・友好都市からの来訪者はもとより、在住外国人市民も含め、幅広く外国人との交流事業を国際交流協会が自主的に実施するとともに、本市の国際交流・国際理解に係る事業についても活発に行うことで、市民が主体となった国際交流が促進されている状態。  |
| 事業概要                | 本市の姉妹都市・友好都市をはじめとする諸外国との市民相互交流や市内在住外国人との交流事業等、幅広い国際交流事業を市と連携を図りながら推進し、市民レベルの国際交流において先導的役割を果たしている尼崎市国際交流協会に対し、補助を行う。   |
| 実施内容                | <p>尼崎市国際交流協会では、姉妹都市・友好都市その他諸外国の市民や団体及び在住の外国人市民との交流を行うため、以下の事業を実施している。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流促進事業（日本語講座、市内在住外国人との交流事業、ボランティア通訳・翻訳登録制度、海外語学研修事業等）</li> <li>・姉妹友好都市交流促進サロン運営事業（牡丹会、ドイツクラブ）</li> <li>・情報発信事業（情報発信誌の発行、ホームページの運営）</li> </ul> |

②事業費

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考  |
|------------|--------|--------|------------|-----|
| 事業費 A      | 640    | 456    | 621        |     |
| 負担金補助及び交付金 | 640    | 456    | 621        | 補助金 |
| 人件費 B      | 717    | 420    | 344        |     |
| 職員人工数      | 0.01   | 0.01   | 0.00       |     |
| 職員人件費      | 79     | 79     | 0          |     |
| 嘱託等人件費     | 638    | 341    | 344        |     |
| 合計 C (A+B) | 1,357  | 876    | 965        |     |
| C 国庫支出金    |        |        |            |     |
| 県支出金       |        |        |            |     |
| 市債         |        |        |            |     |
| その他        |        |        |            |     |
| 財源内訳 一般財源  | 1,357  | 876    | 965        |     |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |     |      |      |      |     |      |     |      |     |
|-----------------|---|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|
| 評価指標            | 国際交流協会主催の交流イベントや諸外国との交流等の内、補助対象事業に関わる人数の合計(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定)  |     |      |      |      |     |      | 単位  | 人    |     |
| 目標・実績           | 目標値   | 400 | 達成年度 | 28年度 | 25年度 | 353 | 26年度 | 356 | 27年度 | 482 |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 下回った |     |      |      |      |     |      |     |      |     |
|                 | 増減があるものの一定の参加数を確保しているが、今後も参加者の拡大に向けた取り組みを進める必要がある。  |     |      |      |      |     |      |     |      |     |

④必要性・有効性の点検

|         |   |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 尼崎市国際交流協会は、市民と行政の協働による国際交流活動を展開しており、協働の実践例である。今後、市民主体の国際交流を一層促進していくため、その先導的役割を担う当協会に対し、補助金を交付しているものであり、これまで一定の効果があったものとする。しかしながら、社会情勢が変化中、国際交流や補助のあり方などについて見直し・検討を行っていく必要がある。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

|          |   |
|----------|---|
| 現状の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性  | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

|            |  |
|------------|--|
| 他自治体及び基準比較 | 阪神間自治体の国際交流協会への補助金額(平成27年度予算ベース 単位:千円)<br>西宮市:25,654、芦屋市:22,012【指定管理料】、伊丹市:1,050【運営補助金】、<br>宝塚市:41,495【指定管理料】、川西市:350【事業奨励補助金】、<br>三田市:8,157【補助金・受託金】猪名川町:1,000、<br>篠山市:2,070【活動補助金】<br>※西宮市は公益財団法人、芦屋市、宝塚市はNPO法人、本市及びその他は任意団体 |
|------------|--|

⑦担い手の点検

|         |  |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
|---------|--|---|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|---|-----|--|--|--|--|---|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無  |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無  |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> |   | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |  |  |  | A | B | C | D | E | 現状 |  |  |  |  | ● | 将来像 |  |  |  |  | ○ |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域  |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
|         | A  | B | C             | D | E |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 現状      |  |   |               |   | ● |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 将来像     |  |   |               |   | ○ |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |
| 内容      | 補助金事業は、市で行う事業である。  |   |               |   |   |  |  |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |   |

⑧総合評価

|      |    |   |
|------|----|---|
| 総合評価 | 改善 | 本市における国際交流に関する団体の代表として、長年、本市の国際交流の促進に努め、市民主体の国際交流が進んでおり、一定の成果をあげていると考える。しかしながら、社会情勢が変化中、国際交流や補助のあり方などについて見直し・検討を行っていく必要がある。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

|        |  |
|--------|--|
| 今後の改善策 | 補助対象の事業や経費の精査を行い、制度目的に合致した効果的・効率的な事業執行を推進していく。 |
|--------|--|

平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |            |      |      |          |
|--------|------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 日独文化研究所負担金 | 102L | 事業分類 | 補助金・負担金  |
| 根拠法令   | 定款、会則      |      | 事業区分 | 裁量的      |
| 個別計画   | —          |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和45年～     |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流   |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |            |      | 目    | 05 一般管理費 |

|         |  |   |           |
|---------|--|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人との交流を促進する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局  | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男  |   |           |

①事業概要

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 事業実施趣旨                  | 国際交流の推進にあたり、国際交流に係る有益な情報を有する団体等からの情報提供や協力が必要であることから、日独文化研究所に加入する。     |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 職員及び市民  |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 国際交流の推進にあたり、必要な情報の収集、人的交流機会の創出等が図られている状態。                             |
| 事業概要                    | 公益財団法人日独文化研究所に加入することで、国際交流に係る有益な情報提供や協力を得る。                           |
| 実施内容                    | 公益財団法人日独文化研究所<br>姉妹都市アウクスブルク市との交流及びドイツ連邦共和国との友好促進に係る情報提供<br>(実績) 10千円 |

②事業費

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考 |
|------------|--------|--------|------------|----|
| 事業費 A      | 10     | 10     | 10         |    |
| 負担金補助及び交付金 | 10     | 10     | 10         |    |
| 人件費 B      | 0      | 0      | 0          |    |
| 職員人工数      |        |        |            |    |
| 職員人件費      |        |        |            |    |
| 嘱託等人件費     |        |        |            |    |
| 合計 C (A+B) | 10     | 10     | 10         |    |
| C 国庫支出金    |        |        |            |    |
| の 県支出金     |        |        |            |    |
| 財 市債       |        |        |            |    |
| 源 其他       |        |        |            |    |
| 内 一般財源     | 10     | 10     | 10         |    |
| 訳          |        |        |            |    |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

|                 |   |   |      |   |    |      |   |      |   |      |   |
|-----------------|---|---|------|---|----|------|---|------|---|------|---|
| 評価指標            | —   |   |      |   |    |      |   | 単位   | — |      |   |
| 目標・実績           | 目標値   | — | 達成年度 | — | 年度 | 25年度 | — | 26年度 | — | 27年度 | — |
| 27年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成<br><input type="checkbox"/> やや達成できず<br><input type="checkbox"/> 回った<br>姉妹都市交流を中心とした事業実施に必要な情報収集に努めた。 |   |      |   |    |      |   |      |   |      |   |

④必要性・有効性の点検

|         |   |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 尼崎市国際交流協会では対応できない広域性、学術性、企業との連携等は、今後の姉妹都市交流における分野を拡充するうえで、必要であるとともに、ドイツに関連する団体であることから、特に姉妹都市交流時において、情報収集や適切な人材の紹介を受ける等、費用対効果の点からも妥当である。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

|         |   |
|---------|---|
| 現状の受益負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 他自治体及び国との基準比較 | 公益財団法人日独文化研究所：自治体会員は長浜市と本市のみ |
|---------------|------------------------------|

⑦担い手の点検

|         |   |   |               |   |   |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
|---------|---|---|---------------|---|---|----|--|----|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|--|---|-----|--|--|--|--|--|---|
| 現状の委託等  | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無   |   |               |   |   |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務<br><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外<br><input type="checkbox"/> 委託等の余地有<br><input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無   |   |               |   |   |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 協働の領域   | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> <td rowspan="2">内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> 地方公共団体等で構成される研究所に会員として参画しており、市の主体性によって行う事業である。 |   | 市民の領域 ⇄ 行政の領域 |   |   |    |  | 内容 |  | A | B | C | D | E | 現状 |  |  |  |  |  | ● | 将来像 |  |  |  |  |  | ○ |
|         | 市民の領域 ⇄ 行政の領域   |   |               |   |   | 内容 |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
|         | A   | B | C             | D | E |    |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 現状      |   |   |               |   |   | ●  |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |
| 将来像     |   |   |               |   |   | ○  |  |    |  |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |   |     |  |  |  |  |  |   |

⑧総合評価

|      |    |  |
|------|----|--|
| 総合評価 | 維持 | 必要性、有効性、並びに本市の財政状況を総合的に考慮し、現状のまま継続することが妥当であると考えます。 |
|------|----|--|

⑨改善の方向性

|        |   |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 事業を共催で実施できる可能性を含んでいることから、今後、交流事業を展開するにあたり、共催について、検討する必要がある。 |
|--------|---|

# 平成28年度 事務事業シート（平成27年度決算）

|        |                     |      |      |          |
|--------|---------------------|------|------|----------|
| 事務事業名  | 姉妹都市アウクスブルク市交流関係事業費 | 102F | 事業分類 | ソフト事業    |
| 根拠法令   | —                   |      | 事業区分 | 義務等      |
| 個別計画   | —                   |      | 会計   | 01 一般会計  |
| 事業開始年度 | 昭和34年度              |      | 款    | 10 総務費   |
| 施策     | 16 文化・交流            |      | 項    | 05 総務管理費 |
|        |                     |      | 目    | 05 一般管理費 |

|         |   |   |           |
|---------|---|---|-----------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 |   |           |
| 局       | 企画財政局                                       | 課 | 都市魅力創造発信課 |
| 所属長名    | 松長 昌男                                       |   |           |

## ① 事業概要

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 事業実施趣旨                  | 提携趣旨である文化・産業等の交流を図ることで、市民生活の向上や国際親善の増進への寄与を目指し、提携50周年共同宣言での「様々な分野での交流の継続・発展、青年交流・市民相互交流の充実」に基づき事業を実施している。なお、両市民による直接・間接の交流機会の提供が課題であり、厳しい財政状況のなか、交流事業を継続して実施していくために、両市間で協議を進める必要がある。  |
| 対象<br>(誰を・何を)           | 市民及びアウクスブルク市民   |
| 求める成果<br>(どのような状態にしたいか) | 国際感覚を身につけた次世代の交流の担い手となる青年が交流事業に参画し、将来の交流と相互理解に向けた事業が継続して行われている状態。   |
| 事業概要                    | アウクスブルク市からの訪問者及び訪問団を受け入れ、表敬訪問、各界関係団体との交流、市内・近隣都市視察、市民交流会等を実施する。一方、本市からも訪問団を派遣し、表敬訪問、各界関係団体との交流や視察等を行う。また、青年使節団については、相互に派遣・受入し、市民交流、青年交流、ホームステイによる交流、市内・近隣都市視察等を行う。  |
| 実施内容                    | アウクスブルク市青年使節団の受入<br>アウクスブルク市青年使節団の受入を通じ、姉妹都市の青年同士の交流を深め、本市の青年の国際的視野の拡大を図るとともに、将来にわたる両市の交流を促進する。<br>日程：平成27年8月24日～8月30日(6泊7日)<br>人数：12人(団長・副団長各1人(アウクスブルク市職員)、団員10人)<br>宿泊：ホテル(団長・副団長)、市内ホームステイ(団員)<br>視察先：アウクスブルク広場、尼崎市総合文化センター、消防署、保育所、文化財収蔵庫、21世紀の森、高等学校、つかしん、富松神社、寺町他<br>その他：市表敬訪問、歓迎昼食会、送別会(いずれも市長出席) |

## ② 事業費

(単位：千円)

|            | 26年度決算 | 27年度決算 | (参考)28年度予算 | 備考       |
|------------|--------|--------|------------|----------|
| 事業費 A      | 1,362  | 824    | 1,623      |          |
| 報償費        | 41     | 82     | 116        | 記念品代     |
| 旅費         | 499    | 53     | 567        | 受入時視察案内等 |
| 需用費        | 13     | 507    | 113        | 食糧費、盛花代等 |
| 使用料及び賃借料   | 9      | 145    | 27         | 会場使用料    |
| その他        | 800    | 37     | 800        |          |
| 人件費 B      | 1,985  | 931    | 1,032      |          |
| 職員人工数      | 0.06   | 0.01   | 0.00       |          |
| 職員人件費      | 474    | 79     | 0          |          |
| 嘱託等人件費     | 1,511  | 852    | 1,032      |          |
| 合計 C (A+B) | 3,347  | 1,755  | 2,655      |          |
| C の財源内訳    |        |        |            |          |
| 国庫支出金      |        |        |            |          |
| 県支出金       |        |        |            |          |
| 市債         |        |        |            |          |
| その他        |        |        |            |          |
| 一般財源       | 3,347  | 1,755  | 2,655      |          |